

南日本新聞 掲載

令和3年1月3日(日)

対馬丸と原爆投下

志布志中2年

若松 悠仁

昨年12月15日付の「若い目」で「対馬丸の悲劇、伝える大切さ実感」という記事を読みました。投稿した悪石島中3年の久永ひかりさんは学習発表会で対馬丸の劇をやったそうですが、僕たちも文化祭で同じ劇をしました。

劇を通して本当は死ぬ必要などなかった子供がたくさん亡くなったことを知り、悲しくなりました。大人たちの都合で命を落としたと思うと、悔しくなりました。

僕たちは修学旅行に行

った長崎で、原爆によって7万人以上もの人が亡くなったことを学びました。対馬丸と原爆投下の両方に共通することは罪のない、これからを生きる人たちがたくさん犠牲になったことです。対馬丸の劇に加え、原爆投下について学んだことで、戦争は絶対にしてはいけないものだと、よりいっそう強く思いました。

今回学んだことを、身近な人たちに伝えていくことが大切だと感じました。それがこんな悲劇を二度と繰り返さないことにつながると思っています。

(志布志市)